

2022年1月17日

各位

会社名 株式会社新生銀行
代表者名 代表取締役社長 工藤 英之
(コード番号 : 8303 東証第一部)

第7回サステナブルファイナンス大賞「サステナブル・イノベーション賞」の受賞について

当行は、一般社団法人環境金融研究機構(以下、「RIEF」)^{※1}が実施する第7回サステナブルファイナンス大賞において、「サステナブル・イノベーション賞」を受賞しました。

サステナブルファイナンス大賞は、その年の日本の環境金融・サステナブルファイナンス市場の発展に貢献した金融機関や企業等を、環境と金融の両分野の専門家が定量評価と定性評価の両方に基づいて選出するもので、今回は10社・機関が受賞しています。

当行は、昨年12月に実施したサステナブルレポ取引での資金調達^{※2}に関し、金融機関の保有債券を一定期間、現金と交換するレポ取引をサステナブルファイナンスに応用した新規性が評価され、サステナブル・イノベーション賞を受賞しています。

サステナブルレポ取引は、当行および国内金融機関として初めての取り組みであり、資金調達手法の多様化を通じて、持続可能な社会の構築に資するアセットへの安定的な資金供給を目指しています。

サステナビリティファイナンスによる資金調達は、サステナブルインパクト^{※3}のコンセプトに準ずる新生銀行グループの持続可能な成長機会に対応し、運用・調達両面での一貫性・整合性のある調達手段の確保として位置付けられるものです。

新生銀行グループは、今後も運用面のみならず資金調達面においてもSDGs/ESGの視点をよりいっそう取り入れ、持続可能な社会構築に向けた資本の適切な資金循環を促進していくことで、社会・環境課題の解決に向けた役割を果たしていきます。

※1 RIEFは、環境と金融を融合させた環境金融の考え方の普及・啓発・発展・展開を目指す非営利団体です。

※2 当行のサステナブルレポ取引の概要は、以下のプレスリリースをご参照ください。

https://www.shinseibank.com/corporate/news/pdf/pdf2021/211206_sustainablerepo_j.pdf

※3 サステナブルインパクトとは、持続可能性やESG/SDGsの観点に、環境・社会・経済など社会全般に対して正のインパクトをもたらすことを目的とする社会的インパクトの概念を融合させた当行固有の考え方です。

金・融 リ・デザイン
Redesigning Finance

以上
お問い合わせ先
新生銀行 グループIR・広報部
報道機関のみなさま: Shinsei_PR@shinseibank.com
株主・投資家のみなさま: Shinsei_IR@shinseibank.com